

承認番号	4095
研究課題名	インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの肺炎予防効果に関する調査
研究の意義・目的	近年、わが国における肺炎死亡率は、特に80歳以上で高率を示しています。わが国は世界でも類を見ないスピードで超高齢社会を迎えているため、肺炎の予防は重要な課題となっています。 本研究では、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの高齢者肺炎予防効果を明らかにしたいと考えています。
研究期間	承認後 ～ 2023年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	平成28（2016）年10月1日～平成31（2019）年12月31日に研究期間の外来で肺炎と診断された患者様（症例）および、症例と同じ性別、同じ出生年度の方で外来を受診された患者様（対照）
利用又は提供する試料・情報の項目	患者様にご記入いただいたアンケート情報 患者様の病状に関する診療情報（通常診療の範囲内で得られた情報）
利用者の範囲	<input type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	<p>【研究全体の責任者（研究事務局）】 名古屋市立大学大学院医学研究科地域包括医療学分野・寄附講座（鈴木幹三）</p> <p>【対象者登録を行う研究協力施設】 長崎大学病院（宮崎泰可）、北松中央病院（東山康仁）、川崎医科大学総合内科学1（宮下修行）、公立小浜病院（伊藤功朗）、ごとう内科クリニック（後藤浩之）、藤立病院（上田章人）、中浜医院（中浜力）、大阪市立十三市民病院（白石訓）、川合内科・小児科（川合淳郎）、足助病院（早川富博）、永坂内科医院（永坂博彦）、宮川クリニック（宮川浩一）、岩島医院（岩島康仁）、浜田・浅井医院（丹羽俊朗）、川村医院（川村秀和）、やまクリニック（山田保夫）、こじま内科小児科クリニック（児島康浩）、かずクリニック（山本和英）、東濃厚生病院（柴田尚宏）、稲沢市民病院（名倉明日香）、総合大雄会病院（伊藤雄二）、名古屋市立大学病院（中村敦）、笠寺病院（足立暁）、旭労災病院（宇佐美郁治）、かいせい病院（菅栄）、三井記念病院（吉村邦彦）、三宿病院（吉川理子）、亀田総合病院（中島啓）、坪井病院（坪井永保）、山形済生病院（武田博明）</p> <p>【データ解析を行う機関】 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学（福島若葉）</p>
代表施設のURL	名古屋市立大学大学院医学研究科地域包括医療学分野・寄附講座 http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/labo/com-inclusion.dir/index.html
研究成果を公表する方法	研究成果は、研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表します。
試料・情報の提供方法	研究事務局では、対象者の登録を行う研究協力施設から、紙媒体で患者様の情報について提供を受けます。その後、研究事務局で情報を電子化し、匿名化の上、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学に提供してデータ解析が行われます。

<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>【研究全体の責任者】 名古屋市立大学大学院医学研究科地域包括医療学分野・寄附講座講師 鈴木幹三</p> <p>【データ解析にかかる責任者】 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 福島若葉</p>
<p>拒否機会の保障</p>	<p>本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。</p>
<p>拒否を受け付ける方法</p>	<p>本研究に関する問い合わせ先</p> <p>【研究全体の責任者】 名古屋市立大学大学院医学研究科地域包括医療学分野・寄附講座 鈴木幹三 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1 電話：052-853-8527 Email：kanso48@med.nagoya-cu.ac.jp</p> <p>【データ解析にかかる責任者】 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 福島若葉 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話：06-6645-3756</p>